

読もうよビジネス書

ビジネス雑誌、新聞による書評とベストセラーランキングを紹介します

毎日更新！売筋ビジネス書

New 2006年ベストセラー

New THE21 『使える！ビジネス書』

New 2007年版手帳・活用術

2006年週間ベストセラー

2006年上期ベストセラー

経営者が薦める必読書

テーマ別良書・話題本

ビジネスマンの課題図書

経営者が部下に薦める本

有名企業27社の教科書

2005年年間ベストセラー

新旧経営者の座右の書

人生を変えた3冊の本

社長が薦めるビジネス書

ビジネスセレブが読むビジネス書

日経ビジネス書評

日経ビジネス書評(2005年)

週刊東洋経済書評

週刊東洋経済書評(2005年)

週刊エコノミスト書評

週刊エコノミスト書評(2005年)

週刊ダイヤモンド書評1

サイト内検索 (書名・著者名等で検索できます)

www.4mo4.com www.bizchamp.net Web

メイン > 2006年年間ベストセラー > 週刊東洋経済「経済・経営書ベスト100決定版」(12~21位)

週刊東洋経済「この経済本がすごい！2006年決定版 『経済・経営書ベスト100』」

2006年12月30日, 週刊東洋経済, 194~203ページ

【12位】

日本経済の新局面



小峰 隆夫

中央公論新社 2006-11

売り上げランキング：14471

Amazonで詳しく見る by G-Tools

長期低迷から得た教訓やその間の構造改革について、具体例を用いた丁寧かつ平易な表現により見解を述べており、非常に参考になる。(富国生命保険シニアエコノミスト・森実潤也)

「失われた10年」からようやく脱却したとされる日本経済が直面する課題を、さまざまな視点から整理し分析している。(三菱UFJリサーチ&コンサルティング投資調査部主任研究員・森山昌俊)

長期停滞から得た教訓を整理し、さらに人口減少などの今後の長期的課題に対する解決策を考察している。日本の潜在成長率についての解説がわかり

[週刊ダイヤモンド書評2](#)

[朝日新聞日曜版書評](#)

[日経新聞日曜版書評](#)

[日経流通新聞MJ書評](#)

[日経産業新聞書評](#)

[日経産業・私の本棚](#)

[日経新聞書評\(2005年\)](#)

[2004年ベストセラー](#)

[F・コトラーの読み方](#)

[P・ドラッカーの読み方](#)

[定番・古典・基本書](#)

[経済・経済学](#)

[会計学・財務分析](#)

[ビジネス関連法律](#)

[社会情勢・その他](#)

[企業戦略論](#)

[技術経営/MOT](#)

[バランススコアカード](#)

[業界動向](#)

[企業戦略成功事例](#)

[コーポレートガバナンス](#)

[企業買収 \(M&A\)](#)

[危機管理 \(リスクマネジメント\)](#)

[経営理論](#)

[組織戦略論](#)

[経営革新・イノベーション](#)

[経営哲学・社長道](#)

やすい。(浜銀総合研究所調査部主任研究員・北田英治)

【13位】

フラット化する世界(上)



トーマス・フリードマン 伏見 威蕃

日本経済新聞社 2006-05-25

売り上げランキング：235

おすすめ平均 ★★★★★

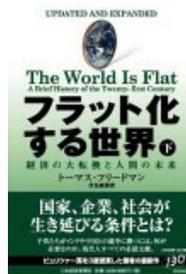
★★★★☆ 現実とは妄想の共有化の所産である。

★★★★☆ 長々と

★★★★★ 勝ち組、負け組論 - グローバル版

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

フラット化する世界(下)



トーマス・フリードマン 伏見 威蕃

日本経済新聞社 2006-05-25

売り上げランキング：259

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 自分の視野って??

★★★★☆ グローバル化ということの真の意味

★★★★★ 視野が広がります!

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

情報通信技術の革新が、経済の基礎条件を大きく変化させた。今や世界は土地や労働力の移動、さらには時間の制約からも解放され、生産性上昇にとどまらず、新たなビジネス機会を生み出している。

米国企業は夜寝ている間にインドの企業に仕事をさせ、朝にはその成果を伝える。(東海東京証券チーフエコノミスト・斉藤 満)

ベルリンの壁崩壊から始まる世界経済の融合と画期的なIT技術の発展と普及に伴い、ビジネスの潮流が全世界(特に中国とインド)を巻き込む形で大きく変化してきていることを、さまざまな例を用いて具体的に示す。

同時に世界経済の主導的役割を果たしてきた米国が、今後引き続き同じような役割を維持するためにはどうすべきかということについて、社会体制を含めて論じている。世界のビジネスの全体像把握とともに、日本の方向につい

経営者人物像・社長本

リーダーシップ

コーチング

部下育成

人材管理

マーケティング入門

マーケティング戦略論

マーケティングリサーチ

顧客・分野別マーケティング

マーケティング実践法

顧客満足(CRM)

セールス・営業術

ブランド戦略

広告・PR戦略

製品開発・デザイン戦略

論理思考・ロジカルシンキング

数学的思考法・工学・統計学

戦略的思考法

問題解決・問題分析法

意思決定・決断術

ゲーム理論

経営コンサルティング

仕事術

勉強法

外見・服装術

対人関係・マナー・対人関係

タイムマネジメント

アイデア発見・発想法

でも考えさせられる本。(石油天然ガス・金属鉱物資源機構上席エコノミスト・野神隆之)

【13位】

「小さな政府」を問いなおす



岩田 規久男

筑摩書房 2006-09

売り上げランキング：6966

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 日本の財政政策 処方箋

★★★★★ 「新自由主義」への信条表明

★★★★★ 期待はずれ

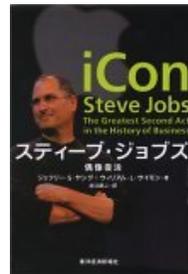
Amazonで詳しく見る by G-Tools

ブレア政権下のイギリス経済などをケーススタディとして、「小さな政府」論の是非をあらためて問いかけた好著である。安倍政権の経済政策を考えるうえでも大変参考になる。(ドイツ証券シニアエコノミスト・安達誠司)

先日他界したノーベル経済学賞受賞経済学者ミルトン・フリードマンの小さな政府論をケインズと対比しながらうまくまとめている好著。(千葉商科大学学長・加藤 寛)

【15位】

スティーブ・ジョブズ-偶像復活



ジェフリー・S・ヤング ウィリアム・L・サイモン 井口 耕二

東洋経済新報社 2005-11-05

売り上げランキング：5653

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 著者の書き方が気になる・・・

★★★★★ 「伝記」として読まさせていただきました

★★★★★ あの、最新のジョブズ本

Amazonで詳しく見る by G-Tools

スティーブ・ジョブズ物はどれを読んでも面白い。この本もつつい読ま

企画術・プランニング法

読む技術・情報収集術

速読術・速読法

話術・説明・説得術

プレゼンテーション術

会議術・ファシリテーション

交渉術・クレーム処理術

書く技術・文章表現法

手帳・ノート・メモ術

ベンチャー経営論

起業物語・起業家本

成功哲学・成功法則

名言集・金言集

自己啓発・夢実現

自己アピール法

年代別自己啓発

正しい日本語の使い方

ビジネス英語

脳力開発・トレーニング

記憶術・記憶力アップ

心理学・読心術

メンタル強化トレーニング

ビジネスキャリア

外資系企業キャリア

MBA・専門職大学院

転職・適職・就職

ビジネス関連資格

されてしまう。ジョブズの強い個性が幾多のエピソードで語られる。たとえば外食の席で必ずウエーターともめ、支払いは必ず他人にさせた。契約は絶対視せずVLSI社との2億5000万ドルの契約破棄に際しては10万ドルしか払わなかった。菜食主義にもかかわらずガンだというのが、長生きしてもらいたいものだ。(東京電機大学工学部情報通信工学科教授・脇 英世)

アニメのピクサー社、さらにはiPodのヒットでかつて逐われたアップル社での復活物語を通じて、ジョブズの光と影を描く。変人からよき隣人に変身するかもしれないと期待を抱かせる。(フレームワークマネジメント代表・津田倫男)

【15位】

階級社会 現代日本の格差を問う



橋本 健二

講談社 2006-09

売上げランキング：2362

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★☆ 最終章は良いと思う。最終章だけ読んでもいい。

★★★★★ 社会の流れは変えられる 静かに鼓舞する一冊

Amazonで詳しく見る by G-Tools

大竹文雄著『日本の不平等』を格差社会論の右派としたら、本書は左派である。格差社会どころか、階級社会化しているというのだから。階級という古びた言葉を蘇らせる筆力がすごい。(竹内 洋)

日本の不平等の実態について、実証的で説得力に富む分析。下層の人々は、政治についての期待感が低く、現状を変えようとする意思を持たないという指摘は、政治学者にとっては重大な問題提起である。(山口二郎)

【15位】

障害者の経済学

[ビジネス資格取得法](#)

[起業・週末起業・独立開業](#)

[労働観・働き方](#)

[マネー哲学](#)

[事典・用語集・地図帳](#)

[業界地図・ランキング](#)

[トレンド予想・経済統計](#)

[ビジネス読物・雑学](#)

[ブログ・インターネット](#)

毎日更新！売筋ビジネス書



中島 隆信

東洋経済新報社 2006-02-10

売り上げランキング：5760

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★☆ こんな事すら広く知られていない現状にうんざり。

★★★★☆ 当事者意識を脱却して

★★★★☆ 経済学と言う以上は

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

多くの人が知らず、経済分析の対象になると考えられていなかった問題に経済学を適応し、新鮮な結論を導いている。経済学は、障害者の便益を上げるために社会の負担を増やすべきだという議論をせずに、何が最も効率的に便益を上げるかを議論する。(原田 泰)

経済学の視点で障害者問題を取り上げた著作は、おそらく前例がない。あるべき政策を考えるうえでも参考になるはず。(上野泰也)

【15位】

日本経済の構造変動 日本型システムはどこに行くのか



小峰 隆夫

岩波書店 2006-03

売り上げランキング：71641

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

「人間のための経済」「市場メカニズムの重要性」「世代の自立」という明確な問題意識の下、丁寧かつ周到に議論が展開されている。たとえば産業構造の変化を論じるに当たり、「モノ作りは経済の基本か」「観光立国論批判」など小気味よく論じられ、印象的である。(新光総合研究所投資調査部 副部長・竹井 豊)

経済変動は、環境変化に反応して順序を持ってドミノ倒しのようになってくる。構造改革といわれる事象を交通整理していく論理は、著者の明快さが光る。(第一生命経済研究所首席エコノミスト・熊野英生)

【15位】

コルナイ・ヤーノシュ自伝 思索する力を得て



コルナイ ヤーノシュ Kornai Janos 盛田 常夫

日本評論社 2006-06
売り上げランキング：37834

おすすめ平均 ★★★★★
★★★★★ 理想を実現するしたたかな生き様

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

財政規律をめぐるキー・コンセプトの一つ、「ソフトな予算制約」を唱えたコルナイの思索と苦悩の遍歴をつづった自伝。東西両体制に深く身を置いたうえでの述懐は、わが国の立ち位置についてもあらためて考えさせてくれる。(三菱総合研究所主席研究員・後藤康雄)

1928年生まれハンガリーの代表的な理論経済学者の自伝。戦争や体制変換を乗り越えてきた著者の回想は、対象が多岐にわたり、大変興味深い。また、HPでの訳者のサポートにより、理解を一層深めることができることも、特筆されよう。(竹井 豊)

【15位】

中国経済のマクロ分析 高成長は持続可能か



深尾 光洋

日本経済新聞社 2006-08
売り上げランキング：56923

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

中国経済が直面している諸問題についての日中の専門家による分析は、それぞれ読み応えがある。(ニッセイ基礎研究所主任研究員・伊藤さゆり)
本書は、日中の代表的なエコノミストや研究者たちが、中国の経済計画・財政金融政策、金融システム、企業・労働システム、為替管理制度等に分析のメスを入れ、率直かつ建設的な提言を行っており、中国経済の実像を解き明かすのに好適な書といえる。(嶋中雄二)

【21位】

経営戦略を問いなおす



三品 和広

筑摩書房 2006-09

売り上げランキング : 2495

おすすめ平均 ★★★★★☆

★★★★★ 学者さんらしい節度ある良書

★★★★★ 歯切れよい明快な論旨

★★★★☆ 事業は経営者で決まる

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

詳細なデータ、事例分析を通じ、「戦略を直接説くよりも事業観を鍛えるに限る」という戦略の現場から発想した実践的な戦略論を展開している。
(埼玉りそな産業協力財団専務理事・根岸茂文)

戦略は人に宿る、アートと言い切り、既存の戦略論とは一線を画す。(米山秀隆)

【21位】

官のシステム



大森 彌

東京大学出版会 2006-09

売り上げランキング : 5015

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 行政優位国家の解剖学～官僚は何に従って生き残るのか

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

行政学の権威による「官のシステム」に対する幅広い論及が行われている良書である。これまでさまざまな形で行政にかかわってきた著者だけに、コクの深い分析が行われている。その中でも、私が強く同感したのは「政(まつりごと)に深く関わった来た官が政にあまり関わる場面が少なくなっているために役割喪失感を強めており、新たな役割に関する展望を開かなければ『やる気』の衰退に結びつく」という指摘である。(中野雅至)

経済の本ではないが、官の行動を研究した分析は見事である。(加藤寛)

【21位】

ダメな議論 論理思考で見抜く



飯田 泰之

筑摩書房 2006-11

売り上げランキング：553

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 新たな議論・知性の誕生

★★★★☆ 題材がわかりやすく、議論のポイントを押さえた参考書

★★★★☆ いわば論理的な消去法

Amazonで詳しく見る by G-Tools

よい議論ではなく、ダメな議論とは何かから入る構成は見事。文例には思わず実例が浮かんできてしまう。あらゆる人々に読んでもらいたい快著。
(若田部昌澄)

ある主張の真偽を見抜くテクニックを整理して説明しており、参考になる。(上野泰也)

【21位】

日本の経済システム改革 「失われた15年」を超えて



鶴 光太郎

日本経済新聞社 2006-07

売り上げランキング：53037

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★☆ 良書ではない

★★★★☆ 全体をサーベイするには良いかも

★★★★★ 読み応え有りです

Amazonで詳しく見る by G-Tools

「失われた15年」の決算書であり、バブル後に決別した日本経済の指針の書である。比較制度分析など最新理論を駆使した内容の濃い一冊である。
(霧島和孝)

現実の政策課題を、近年の経済学の成果を踏まえ、歯切れよく、かつ誠実

に考察。(後藤康雄)

【21位】

「豊かさ」の誕生 成長と発展の文明史



ウィリアム バーンスタイン William J. Bernstein 徳川 家広

日本経済新聞社 2006-08
売り上げランキング：1767

おすすめ平均 ★★★★★
★★★★★ 歴史的偶然が生んだ人類共有のレシピ

Amazonで詳しく見る by G-Tools

19世紀初頭から現代に至るまでの資本主義の歴史を中心とした文明史。その壮大なスケールに圧倒される。(三菱UFJ証券チーフエコノミスト・水野和夫)

近年の経済史研究を踏まえた「豊かさ」の人類史。成長とは何か、考えさせられる一冊。(滋賀大学経済学部助教授・柴山桂太)

【21位】

ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる



梅田 望夫

筑摩書房 2006-02-07
売り上げランキング：98

おすすめ平均 ★★★★★
★★★★★ 中学生や高校生に読んでほしい。おじさんはもう遅いかも。

★★★★☆ ITの新しい流れの読み方
★★★★★ IT業界を志望する人、働いている人必読

Amazonで詳しく見る by G-Tools

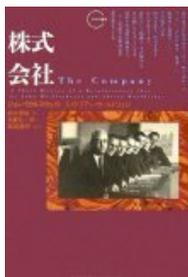
グーグルをやたらにほめすぎではないかという批判もあるが、Web時代のすごさを初めて現実味を持って説明した価値は高い。(スクウェア代表取締役・黒須 豊)

グーグル台頭によるITビジネス社会の変化が手際よくまとめられており

参考になる。(住友商事総合研究所情報調査部チーフエコノミスト・奥田壮一) 株式会社

【21位】

株式会社



ジョン・ミクルスウェイト エイドリアン・ワールドリッジ 高尾 義明

ランダムハウス講談社 2006-10-12
売り上げランキング：2322

おすすめ平均 ★★★★★
★★★★☆ 株式会社の存在こそが資本主義

Amazonで詳しく見る by G-Tools

世界繁栄の土台は会社であり、世界が望みを託すのも会社である。人は時間とエネルギーを会社とともに費やしている。その割に会社といえば1602年のオランダ「東インド会社」しか知らない人が多い。紀元前のメソポタミアの商取引から現代まで、英国エコノミスト誌の記者が波乱万丈の会社の一生を読みやすく描く。(丹羽宇一郎)

株式会社の発生から現在までの歴史を簡明に書いている。(奥村 宏)

【21位】

富の未来 上巻



A. トフラー H. トフラー 山岡 洋一

講談社 2006-06-08
売り上げランキング：1438

おすすめ平均 ★★★★★
★★★★★ 現代における最高の知性との出会い
★★★★☆ 時間・空間・知識
★★★★★ 圧倒的にホンモノ！

Amazonで詳しく見る by G-Tools

富の未来 下巻



A. トフラー H. トフラー 山岡 洋一

講談社 2006-06-08

売り上げランキング : 1715

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 世界情勢を統一のとらえる-これからどうなるのか？

★★★★★ 波の向こうには？

★★★★★ なるほど

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

世界はかつてない規模とスピードで変化を始めた。そこに富の源泉があり、これをうまくつかんだ人が富を得ることになる。ここでは富を貨幣的な概念のみならず、精神的、社会的見地からもとらえている。(奥田壮一)

【21位】

危機の宰相



沢木 耕太郎

魁星出版 2006-04

売り上げランキング : 123151

おすすめ平均 ★★★★★

★★★★★ 昔の「所得倍増」なんて興味ないという人にもおすすめ

★★★★★ 池田氏の「勘」というもの

★★★★★ 所得倍増にこんな物語が隠れていたとは

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

「上げ潮政策」の原点である、池田内閣の所得倍増計画策定における政策論争を生き生きと描いたノンフィクション小説。(安達誠司) 高度成長を演出した池田勇人は大蔵省では敗者だった。人間・池田勇人に感銘を受ける。(映画監督・仲倉重郎)

Edit

FEED



親サイト

姉妹サイト

4mo4.
com Web



サイト内検索(4mo4.com)

TOP

Copyright (C) 2004-2006 Ambitious Kanda, All Rights Reserved.